

## 新居浜市総合文化建設委員会 第1回分科会 美術館 会議録

1. 日時	平成23年5月24日(火) 10:00~11:45
2. 場所	新居浜市役所 3階応接会議室
3. 出席者	<p>委員            松久勝利    篠原雅士                             宇野貴美恵   合田定子</p> <p>総合文化施設室長   赤尾恭平              "            副室長    菅春二              "                            池田淳子              "                            山田慶治</p> <p>(株)日建設計    3名            (株)トータルメディア開発研究所    3名            新居浜市役所 建築住宅課    2名</p>
4. 欠席者	なし
委 員	<p>&lt; 開会挨拶及び自己紹介 &gt;</p>
事 務 局	<p>&lt; 第一回全体会議のまとめ・資料配布について &gt;</p> <p>それでは、まずお手元の資料がありますが、今までの会議で話し合ってきたものを、具体的に、現実的なものにまとめたものです。</p> <p>それでは、事業の基本的な考え方・施設設備の目標の設定について(あかがねフォーラム全体の設備など)(株)トータルメディア開発研究所からご説明いたします。</p> <p>(株)トータルメディア開発研究所、説明をお願いします。</p>
(株)トータルメディア開発研究所	<p>&lt; (株)トータルメディア開発研究所 資料説明 &gt;</p> <p>資料1ページをご覧ください。この資料は、あかがねミュージアムの施設設備の目標・事業の枠組みを説明したものになります。これは、参考程度に作ったものですので、これから委員さんのご意見を頂けたらと思っています。</p>

まず、施設設備の目標についてですが、文化創造の拠点は、「創る・学ぶ・育む」といったもので、これをコンセプトにしています。そして、あかがね文化の太鼓台や産業文化の別子銅山、そして、地域文化のおてだまなどといったものを融合・交流していけるものにし、新しいものを生み出せればと考えています。

次に、事業の枠組みについてですが、大きく分けて5つになります。美術館・小劇場では、1．鑑賞、芸術作品鑑賞機会の提供事業で、市民・来訪者に、国内外の優れた芸術作品の鑑賞機会を提供するような空間を作る。2．発表、市民芸術活動の支援事業で、市民主体の芸術活動に対して、創作や発表する場や機会を提供したり、相談や情報提供などの支援を行う。3．協働、市民参画型事業で、ワークショップなどにより、市民が専門家による指導を受けたり、プロのアーティストや演奏家等との共演を行う活動や、市民が主体となって新居浜やあかがねミュージアムの事業に、市民ボランティア制度地、さまざまなレベルで参画、連携する活動。4．普及、普及啓発事業で、地域の学校や福祉施設などにアーティストや専門家を派遣して、芸術・文化面から他機関の活動や支援を行うアウトリーチ活動。5．育成、人材育成事業で、あかがねミュージアムを生きた教材として、市民に芸術・便化事業の企画・運営に関する知識やノウハウを学んでもらう実施的講座をできる空間をつくるといったものです。

次にあかがね文化ですが、大きく分けて2つに分けます。1．学ぶ、歴史文化資料・情報の提供事業で、市民・来訪者が、新居浜の席市文化に触れ、学ぶための資料を公開・提供したり、市内各地にある歴史文化に関する情報を提供するものです。2．発表、市民芸術活動の支援事業で、市民主体の芸術活動に対して、創作や発表する場や機会を提供したり、相談や情報提供などの支援を行うといったものになります。

そして、あかがねフォーラムについても各分野を横断する形で3～5があります。

3．協働、市民参画型事業で、ワークショップなどにより、市民が専門家による指導を受けたり、プロのアーティストや演奏家等との共演を行う活動や、市民が主体となって新居浜やあかがねミュージアムの事業に、市民ボランティア制度地、さまざまなレベルで参画、連携する活動。4．普及、普及啓発事業で、地域の学校や福祉施設などにアーティストや専門家を派遣して、芸術・文化面から他

<p>(株)トータルメディア開発研究所</p>	<p>機関の活動支援を行うアウトリーチ活動。5. 育成、人材育成事業で、あかがねミュージアムを生きた教材として、市民に芸術・便化事業の企画・運営に関する知識やノウハウを学んでもらう実施的講座をできる空間をつくるといったものです。</p> <p>このあかがねフォーラムを中心に展開していけたらと考えています。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt; 補足説明 &gt;</b></p> <p>あくまでも資料でのご説明となるんですが、小劇場だけではなく何か様々な事のできる、市民の方々の交流となる場所を考えておりました、その参考としてつくったのが7ページにある、工房(オープンラボ)・アトリエ・会議室・スタジオ・ライブラリー・交流サロンになります。そして、この交流のもてる空間をあかがねフォーラムと考えています。</p> <p>例えば、会議室についてですが、間仕切りにして様々な会議に対応できるようにし、公開型と非公開型に区分できる使い方にすることで会議室の使い方が広がるようにしています。ここで会議をして決まったことなどを、スタジオに持ち帰って何かをすることのできるように一空間にまとめることでご利用される方に良いのではないかと考えました。</p> <p>小劇場に関しても、スタジオでリハーサルしたり、工房で小劇場での小道具を作成したりなどの使い方もできると思いあかがねフォーラムを考えました。</p> <p>次に、8ページの説明ですが、この資料は、一つの案として紹介したいと思いつくりました。あかがねフォーラムの位置付けといたしましては、あかがねミュージアムの活動のエンジンとなるような場にしていき、小劇場・美術館・あかがね文化が交流する場であり、全ての機能が「あかがねフォーラム」を結節点として繋がっている場にしたいと考えています。</p> <p>そして、このことから考えた再現図を3つの案で考えてみました。1つ目の案ですが、大空間の中に主要諸室が点在する形です。これは、主要諸室以外は、間仕切りで自由に使用可能になっており、外からも見える空間となっています。次に2つ目の案ですが、各会議室をストリートでつなぐ形になっています。各諸室が個室状になっており、ストリートには、ショーウィンドを設け、にぎわいのある演出</p>
-------------------------	--

事務局	<p>にしています。最後に 3 つ目の案ですが、会議室を中心に各諸室を配置する形になっています。会議室は、間仕切りで仕切られていて、自由に使用可能になっていますし、回路から、会議や活動の様子をみることのできる空間になっています。</p> <p>次に、9 ページの説明ですが、あかがねフォーラムがどういった活動をするかです。大きなスペースにスタジオを大きく取りまして、その周りに会議室や工房をおいたりなど、スタジオ中心にどこでも移動できる形に想定しました。それにより様々な方が触れ合い・交流に繋がると考えています。</p> <p>どの案になっても効率の良い形にしていきたいので、委員さんの方々にご意見を頂ければと思います。</p> <p>委員の方々トータルメディア開発研究所のご説明を聞いてご意見がありましたらお願いします。</p>
委員  (株)トータルメディア開発研究所	<p>お茶席をできる場所はあるのか。今様々なお茶の形があり、その場所があることによって集客に繋がると思う。</p> <p>和室機能もある会議室を計画しておりまして、つくり方次第でお茶のできる空間になります。</p>
委員	<p>今、和室だけであるお茶会だけではなくて、お茶をするスペースさえあれば、工夫してできると思います。質には、拘らなくて良い。</p>
事務局	<p>お茶をたてるのに、水道設備は必要になってきますか。あと、華道用の水場や流し台は必要になってきますか。</p>
委員	<p>水を必ず使用しますので、水場が遠かったりしますと、水がこぼれたりしますので、できるだけ使いやすい所にあってほしいです。</p>

委員	<p>水場の話がでたので、私は、染色をしまして、水場が必要です。あと、水を大量に流したりしますので、大きさや流れやすさがあれば嬉しいです。</p>
委員	<p>この美術館の分科会は、あかがね文化が大きな課題になってくると思う。そのため、美術館とあかがね文化の交流が大切になってくると思っていますので、そこの部分を大事にして頂きたい。</p>
委員	<p>資料を見た時に、寺坂公雄記念館というのがありますが、こういった場所をもうけるのであれば、美術館全体の話でもありますが、子供に本物の芸術に触れてもらうことが大切になり、そういったコンセプトを中心に、子供のための展示や、イベントを持つことが大事だと思う。</p>
委員	<p>丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、子供を対象としたワークショップが開催されています。</p>
委員	<p>皆さんが言われたとおり、鑑賞の方法に限定されず、子供が飽きないような、また来たいと思うような、新たな方法を模索しても良いと思う。</p>
(株)トータルメディア開発研究所	<p>委員の皆さんに言われたみたいなコンセプトを工夫して取り入れていけるようにしたいです。</p>
委員	<p>美術館展示室の説明もごさいますので、そちらに移りたいと思います。</p>

(株)日建設計	<p>それでは、日建設計さんご説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt; (株)日建設計 資料説明 &gt;</b></p> <p>今、現在で何も決まっていない状況なので、委員の皆さまのご意見を頂いて、話し合いながら、設計に役立てていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>資料の説明に入りたいと思っております。</p> <p>これは、参考の資料としてお持ちしました。10ページになりますが、この資料は、美術館企画展示室の仕様の室のプロポーションや、天井の高さや、移動展示壁の仕様を決定するための、より大規模でハイスペックな事例を「国立」・「都立」・「県立」の各レベルからピックアップして比較検討したものになります。</p> <p>美術館と言いましても、様々な形がありますので、それを、この資料を見て、他にも参考になる所があれば、言って頂いてイメージができればと思っています。</p> <p>次に、11ページに移りますが、本計画の展示室規模のイメージと各事例のセームスケールで、同一の縮尺で比較したものになります。この図も、イメージ程度に書いたものなので、まだまだ、これからのものなのでご理解頂ければと思います。</p> <p>その後続く12, 13, 14ページに亘って、10ページに紹介した美術館の同一に縮尺した平面図になります。これを見て頂いて新居浜のは小さいと思われたかもしれませんが、建設側から見ますと中々大きいと思っております。それを分かりやすくするために、次の15ページにある、本計画の類似展示室「市立」レベルとして、地元作家記念展示室を併設している松本市美術館を同一縮尺にしたものです。これを見て頂ければ大きいと思われると思っておりますし、使いごたえがあると思っております。他と違うのは、複合施設ということで、複雑かつにぎわいのあるものになってくるだろうということです。</p> <p>次に、参考につくったものですが16、17ページに検討資料といたしまして1000㎡をどのように使っていくか2つの案をつくりました。</p> <p>まず、1つ目の案ですが、1000㎡を可動間仕切により動かすことで様々な形にするといったものになります。しかし、可動間仕切は、区切りがたくさんあるものなので、絵を掛けることには向いていな</p>
---------	---

	<p>いので、そういった部分で委員さんの方々に意見を頂ければと思います。他にも照明のことや設備のご経験なされた方の意見を伺いたと思います。しかし、基本からずれるようなものは、構造等が変わってきますのでご理解頂ければと思います。</p> <p>次に17ページの2つ目の案ですが、1000㎡を二つに完全に区切って二つの展示室をつくる形になっています。使い方によって分かれてくることなので、その位置付けをつけていきたいと思っています。</p> <p>一方、課題がありまして、この設計でいきますと面積が大きくなってしまいます。しかし、予算に収まるようでしたら、可能だと考えています。</p> <p>資料の説明は以上です。</p> <p>(株)日建設さん、ご説明ありがとうございました。</p> <p>(株)日建設さんの、説明を聞いて、ご意見・ご質問があればお願いいたします。</p> <p>私が思ったことは、企画展示室と市民ギャラリーを兼用できるようにすることが今回の課題だと思う。兼用するならば、会期が被らないように調整をして頂きたい。</p>
委員	
委員	<p>市民ギャラリーについてですが、現在郷土美術館では、手作りの展示をしていまして、文化センター等も使用しているバトンを使った展示方法が多くされていて、そのような案もお願いしたい。あと、バトンや移動間仕切をもっと素人でも使いこなせれる工夫がほしい。</p>
委員	<p>自立式有孔パネルや、工芸品専用展示品台等の什器をそろえておくことも必要だと思います。</p>
委員	<p>天井から吊るような展示をする方法は、無理なのか。</p>

(株)日建設計	吊る物の荷重によっては対応できますが、天井の高さなどの設計によって変わってきます。
委 員	あと、町立久万美術館の方にお話を聞いたんですが、久万美術館には、展示品の重量に制限があって、ある一定のものしか展示できないんですが、今回の美術館は大丈夫ですか。
(株)日建設計	ある程度の重量には、対応できるようにする予定です。搬入用のエレベーターの制限荷重で決まります。
委 員	飽きることのないように、外を見ながら等の、移動時間が楽しくなるような建築の工夫をしてほしい。
(株)日建設計	たたき台としてですが、フレキシビリティを優先してしまして、柔軟性をふまえた、システムティックな構成としている。常設展示室の周辺には、眺望の良いテラス的なものを建設予定していますので楽しんで頂けると考えています。
委 員	天井の明りはどのようになっているのか。
(株)日建設計	トップライトのことですが、様々な展示品があると思うので、その文化財保護の観点から、まだ想定していません。人口照明は展示品に適したものを設置します。
委 員	市民ギャラリーや企画展示室について、準備室の協力をお願いして、委員会で稼働率を設定した上で、日建設計さんに規模検討をお願いしたい。小規模な展示を目的としたものは、あかがねフォーラムのアート工房で開催することも頭にいれて、一部ギャラリーみたいなものにもすることも提案したい。



<p>(株)日建設計</p>	<p>アート工房については、振動・熱・におい等がおきるものなので、そういった部屋を設けて最低限区画して、オープンな供用部に多くのライブラリーやサロンのような機能を考えて、協働できる、交流のできるものにしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今日は、第1回目なので全部思ったことを言うのは無理なことなので、今回の意見と、配布いたしました意見票をふまえて、次回の第2回分科会を一つ進んだ話し合いをしていきたいと思っています。</p> <p>次回の分科会は、6月13～15日で予定しております。お手元にある開催希望表にご記入していただいて都合の良い日にして、ご連絡差し上げますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>お手元に配布しておりますご意見の用紙ですが、書ききれなかったら、お電話でも頂けたらお話は聞きますので、連絡してもらえればと思います。</p> <p>お忙しい中、今回はありがとうございました。</p>